

私の保育園

No.37

子どもの育ちを支える
～保育リボン～



Contents

- 特別寄稿……………2
- 新加盟園の紹介…………4
- フレッシュ先生の紹介…6
- こんな活動やっています…8



海士の伝統芸能を
引き継ぐ子どもたち



昔から海士町に伝わる歴史ある文化である「島前神楽」を地域に向けて広めるために、毎年年長児が講師の先生に舞や締太鼓、手びしなどを教わっています。園内で太鼓や手びしの音が聞こえると、1歳児も興味を持ち手足を動かしたり太鼓を叩く真似をしています。

年度後半には、町の産業文化祭や福祉施設への交流訪問、園での生活発表会などさまざまな場所で発表し、地域の人に温かい拍手をいただいています。

隠岐・けいじょう保育園 園長 青木 豊美



<http://www.sweet-house.jp/shimane-shihoren>



—特別寄稿—

子ども・子育て支援新制度に向けて

平成二十六年九月

島根県健康福祉部長 原 仁 史

島根県私立保育連盟の皆様には、平素から県の健康福祉行政の推進に、ご理解とご協力をいただきしておりますことに、心からお礼申し上げます。

とりわけ、児童福祉、保育行政の推進にご尽力を賜っておりますことに、敬意を表しますとともに、感謝を申し上げる次第です。

ご承知のように、急速に進む『少子高齢化』を背景に「社会保障と税の一体改革」として、国レベルで、様々な制度の見直しが行われております。健康福祉部が所管しております「保健・医療・福祉」の分野は、今、大きな変革の時期を迎えています。

この改革は、消費税の引き上げによつて安定的な財源を確保し、高齢化が進んだ社会でも、世代を問わずだれもが安心して暮らせる社会を実現しようとするもので、「子ども・子育て」「医療」「介護」「年金制度」の四つの分野の充実や安定化を図ろうとするものです。消費税を平成二十六年四月から八%に、平成二十七年十月からは十%にと段階的に引き上げ、引き上げられる五%の内の一%（約二一

八兆円）分が子ども・子育てや医療・介護の充実などに充てられることとされており、残り四%を基礎年金の国庫負担分など社会保障の安定化に充てられることがとされています。

このうち『子ども・子育て支援』の充実分としては、〇・七兆円が確保される見込みであり、その中核となる「子ども・子育て支援新制度」が平成二十七年四月からスタートする予定です。

皆様が、質の高い養護と教育を実践すべく、日々努力を重ねておられる保育の現場に、この「新制度」がどのような影響を与えるのか、多くの疑問や不安をお持ちのことだらうと推察いたします。

この新制度に向けたこれまでの動きを振り返つてみると、平成二十四年八月に子ども・子育て関連三法が成立し、小規模保育事業の創設や認定こども園制度の改善など制度全体の枠組みが決定されました。

昨年八月には、市町村が幼児期の教育や保育の供給体制（保育所や幼稚園などをいつ頃・どれくらい整備するか）などを盛り込んだ『子

ども・子育て支援事業計画』を策定する際の基本となる『子ども・子育て支援法に基づく基本指針』（案）が示されました。（本年七月に正式に告示され、（案）が取れています。）

市町村では、子ども・子育て会議が設置され、昨年度のところで保護者のニーズ調査（保育所や幼稚園などの利用状況や将来の利用希望等）が実施され、それを踏まえて、今後の保育所や幼稚園などの利用量の見込みやそれに対する供給体制についての議論が進められています。

県でも「島根県子ども・子育て推進会議」を設置し、市町村の取り組みの支援や人材確保などを盛り込んだ県『計画』の策定に向けた審議を進めているところです。

本年四月には、『利用者（保護者）負担』の水準が明らかになり、六月には、当初予定から大幅に遅れましたが「公定価格の仮単価」も示されました。これらにより、現行の利用者（保護者）負担水準や措置費水準と新制度での給付費の水準との比較がある程度可能になりました。





また、七月には、認定こども園の制度改正や小規模保育事業などを認可をする際の『基準』などが示され、県や市町村では、それに基づく条例の制定や改正の作業が進められています。

このように、制度の大枠については、おおむね明らかになつてきましたが、まだまだ不透明な点が多くあり、利用者である保護者の皆様の理解がどれくらい進んでいるのか不安が残ります。

各市町村においては、今後必要となる「教育」や「保育」の量の見込みが確定していません。また、小規模保育など新しい事業が創設されましたのが、具体的な運用の仕方など、まだ多くのことが分からぬ状態です。

そのうえ、今示されている「公定価格の仮単価」は、消費税が予定どおり引き上げられたうえで、平成二十九年度から担保される水準であり、来年度の給付費がいくらになるのか、現時点では分かつていません。

つまり、来年から必要な保育を十分行うための費用は担保されるのか、職員の待遇をよくするための財政支援はあるのかなど、実際に現場で、子どもたちの保育を実践するための肝心な情報が示されていませんし、園の今後の方針を決めるための情報も十分とは言えない状況にあります。

「詳細」な「情報」が「少しでも早く」示されることが必要です。

県としては引き続き、国に早期の情報提供を強く求めるとともに、情報の収集にも努め、

明らかになつた「情報」は、速やかに現場の皆様に伝えられるようこれまで以上に努めてまいります。

また、保護者の皆様が混乱なく円滑に新制度を活用していただけるよう、新制度についての広報に努め、理解を深めていただけるよう準備を進めてまいります。

財源の確保も大きな課題です。このたびの『一体改革』の構想の当初から「子ども・子育て分野」の充実には、一兆円程度の費用が必要とされ、子ども・子育て会議でも消費税増税で確保が見込まれる〇・七兆円以上の財源が確保されれば、より多くの「質の改善」が可能であることが明らかにされています。

子ども・子育て関連三法案に対する参議院の付帯決議では、政府に財源確保の最大限の努力を求めており、県としてもこれまでも様々な形で、財源の確保を国に求めてまいりました。今後も引き続き求めてまいりますので、島根県私立保育園連盟の皆様にもご理解とご協力を願いします。

「子どもたちの最善の利益」が実現される社会、これが私たちの目指すところです。社会全体で、子どもの健やかな育ちと子育てを支え、子どもや保護者が幸せを感じることができるようになることが大切です。

そしてそのことが、子どもを産み育てたいという機運を高めること、ひいては将来のわが国の担い手を育成することに通じるものと考えます。

るために、「保育所」は大きな役割を担つていただいており、今後、一層、期待が高まるものと考えています。

新制度をどう「保育」や「子育て支援」の充実につなげ、実践することができるかは、まさに現場の皆様に課せられた課題だと思います。県としても市町村や県社会福祉協議会などと力を合わせて、保育現場の皆様を支えていきたいと考えています。

島根県私立保育園連盟の皆様方には、地域の全ての子どもたちが、健やかに成長できますよう、市町村とも十分連携を取つていただき、これまでにも増して、お力添えをいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

結びに、島根県私立保育園連盟の皆様方のますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げます。



出雲市

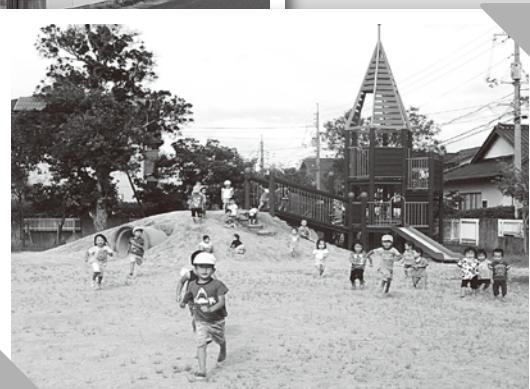
北陵保育園

園
定長:佐々木 智子
員:40名

設置・経営主体:学校法人 水谷学園

平成25年4月、北陵保育園は出雲市斐川町西部の田園と住宅地に開設し、2年目になります。現在は0歳児から就学前までの園児が、併設の幼稚園と合わせて、認定子ども園の園児として生活しています。発達に沿ったねらいを持ち、子どもの主体性や感性を大事にし、自分の好きな遊びや活動を十分楽しみ、健康で豊かな発達を支えたいと思っています。

認定子ども園の良さを生かし、幼保の同年齢の園児は同じクラスで活動をします。地域の幼児の子育てを応援し、保護者の方や地域の方と共に、一人ひとりの持つ力を伸ばし、皆が育ちあうことを願っています。



子どものつぶやき

お薬をお口の中にさらさらさら。ごっくんの後に、ちよつといやな顔をして、あわせてお茶を飲んでいたAちゃん。「どうしたの?」と聞くと、「お口の中に大きなあやまができる」と



夏の間水やりをしたい、世話をしこきた朝顔がだんだんと枯れこきました。この朝顔に向かってひとい言。
「は～ながさいたら がれちゃって～♪」
(お寺のおしょうさんの節で)
「夏が終わったら、秋?」
自然から学んだC君でした。





浜田市

認定こども園 あさひ子ども園

園

長:藤田 美津恵

定

員:保育園部 100名 幼児園部 15名

設置・経営主体:

社会福祉法人 誠和会

あさひ子ども園は、平成21年4月1日に島根県で初めての認定こども園として開園以来、6年目を迎えました。一人一人の個性を伸ばし、色々な経験を大切にして健やかに大きく育つ事、やさしい気持ちや思いやりの心が育つ事を願って保育をしています。旭町の豊かな自然環境のなかで、日々草花摘みや虫採りを楽しんだり、砂遊び、冬には雪遊び等、季節感あふれる遊びを元気いっぱいに体験しています。子ども達の可愛い表情、笑顔は大きな宝物です。これからも、子ども達の成長を見守っていきたいと思います。



浜田市

認定こども園 日脚保育園

園

長:三上 弓子

定

員:130名

設置・経営主体:

社会福祉法人 日脚保育園

昭和27年5月の開園より、なかよく・つよく・あかるくを保育信条とし日脚保育園も開設から62年になります。平成20年度、隣接する公立の幼稚園の閉園に伴い平成21年度より認定こども園日脚保育園として認可を受け、この度分園の改築を致しました。新分園舎では幼児クラス(3,4,5歳児)の保育を、本園では乳児クラス(0,1,2歳児)の保育と子育て支援を行っています。毎日、歌とリズムで一日が始まり外遊びの充実をモットーに日々頑張っています。これからも地域の保育園としての役割を果たしていきたいと思っております。





フレッシュ先生の紹介

平成26年度新規採用の先生方を、各ブロックより選出して紹介するコーナーです。

第1ブロック(隱岐郡)

双葉保育園

藤野

優先生

今春、県立短期大学保育学科を卒業し、ふるさと隱岐に帰省し、双葉保育園に勤務するフレッシュ先生は「藤野 優さん」です。優先生にとつて双葉保育園は、小さい頃の思い出がいっぱい詰まつた忘れることがいっぱい詰まつた忘れることが多い母園。その母園に帰つて小さい頃から夢だった保育士になりたいと本気で考ふるようになつたの大きき母園。その母園に帰つて小さき優先生は、子どもたちの可愛い笑顔と著しい成長に感動した2年生の保育実習後からでした。

4月、夢が現実のものになり、母園で働く優先生は、早速1才児クラスク13名の担任の一人として頑張つています。

当時は、保育士としての責任の重さと自分自身の保育技術の未熟さから、言われたとおりの仕事をこなすかだけでしたが、周囲に疑問や悩みを打ち明けることで、同僚からのアドバイスをヒントに、今では子どもたちのありのままの姿や思いをしっかりと受け止め、保育士さんらしい振舞いもできるようになりました。また、優先生は、成長の著しい子どもの変化は見逃さず、名前とのど



園長 吉田 輝美

り常に優しい言葉かけと温かい眼差しで心の安定を図り、信頼関係を築くことに努めています。そんな優先生を子どもたちは大好きで、他のクラスの子どもたちからも「ゆうせんせいい！」と慕われます。今後は、生まれ育った地域の母園で、一人の人間として魅力あふれる人となり、更には保育士としての専門性を磨き、「気くばり」「くばり」のできる保育士を目指してほしいと願っています。

第2ブロック(出雲市)

ひかり保育園

山崎

有紗先生

ひかり保育園に勤めているフレッシュ先生は「山崎有紗さん」です。子どもが大好きで小学生の頃から保育士になりたいと思つていた有紗さん。4月から憧れの保育士の仕事に就き、0歳児の担任をしています。0歳児の子どもたちは可愛くて日々成長する姿を身近で見ることができ、感動したり、癒されたりする日々のようです。ただ、子どもたちの発達の違いやコミュニケーションの取り方、援助の仕方などなど、分からぬ事だらけで不安も感じながら…。先輩にアドバイスや指導を受け、自分自身が保育を日々振り返り過ごしています。体が疲れた時、クラスの子が抱っこを求めてくれたり、笑顔でハイハイしてきてくれる姿を見るところと「明日も頑張ろう！」というような元気にかわるようになります。可愛いま子もたちに囲まれて、いつも笑顔を忘れないで頑張つてほしいと思います。

園長 田中 朝美





フレッシュ先生の紹介



松本祐美先生との初めの出会いは、昨年7月の保育実習でした。いろいろな事を吸収しようと挑戦し頑張る姿に、保育士として大きな魅力を感じました。この度、縁あつてあゆみ保育園職員の仲間入りです。

子ども好きは勿論!スポーツが大好きで、小学生から続いているバレーボールの実力はピカイチ!! あゆみ保育園バレーボール部の即戦力として、大田市職域バレーボール大会連覇に貢献してくれました。先輩保育士と2歳児クラスを担任し、祐美先生のはじける笑顔は、子ども達を引き付け包み込んでくれます。

主任保育士 佐々木伸子

キラキラと輝くあゆみ保育園のフレッシュ先生!



松本祐美先生です

**松本
祐美
先生**



**第3ブロック(大田市)
あゆみ保育園**

**第4ブロック(浜田市)
みのり保育園**

**吉田
早彩
先生**



みのり保育園に、今年4月から勤務している、笑顔が素敵なフレッシュ先生は、「吉田早彩」さんです。2歳児クラスの担任になり先輩保育士と3人で18名の、パワー溢れる子ども達と日々奮闘中です。

「初心、忘るべからず。」で、いつも一人ひとりに寄り添える、保育をしていきたいと始まった4月。ところが相手は何と言つても「ぼくを見て・わたしを見て」の甘えん坊さんばかり。「一生懸命が、いつも空まわりしてしまい、理想と現実のギャップを感じ涙がポロリと出てしまう事もありました。そんな時、支えてくれた先輩の言葉に勇気づけられ少しずつ、笑顔に余裕が見られるようになりました。

最近は、しっかりと子ども達と向かいあって、「明日は何して遊ぼうかな?」と、キラキラと目を輝かせながら、ボードに明日の遊びを書き入っている彼女です。

主任保育士 川口千登子



みのり保育園に、今年4月から勤務している、笑顔が素敵なフレッシュ先生は、「吉田早彩」さんです。2歳児クラスの担任になり先輩保育士と3人で18名の、パワー溢れる子ども達と日々奮闘中です。

「初心、忘るべからず。」で、いつも

の日か大きく成長した子ども達が吉田先生来たよ。」と、会いに来てくれるような、心豊かな保育士を目指してくれますように、これから益々の活躍を期待しています。

主任保育士

川口千登子

こんな活動やつてます

もくもくの日

あさり保育園 園長 相山 慈

豊かな自然に囲まれているあさり保育園。その環境をいかし、自然の中で子どもたちが様々なことを体験し、成長してもらいたいという思いからスタートしたのが「もくもくの日」の活動です。この活動は天候に関係なく、散歩や散策の活動を中心とし、園舎ではなく自然の中で一日を過ごすのです。もくもくの日では、環境を通して子どもの発達を保障することを目的としており、「自然」という環境に対しても、子どもが発的、意欲的に関わり、そこにおける子どもの主体的な活動や発達を促すことを大切にしています。

〈活動のポイント〉

子ども一人一人の発達について理解し、一人一人の特性に応じ、発達の課題に配慮して見守っています。

ます。例えば、山の斜面などを登つて遊ぶ時、登る場所は一ヵ所ではありません。子どもは自ら登りやすい場所、登りたい場所を選んでいます。そんな子どもの挑戦したい気持ちを受け止め、発達を理解した上で必要に応じた援助します。

がないこと、無理がないことを考慮した上で子どもの声に耳を傾けます。また、その提案通りにできない場合はきちんと理由も説明します。



メンバーメンバー編成を3、

4、5歳児

の異年齢

で行つて

います。



この活動の舞台となるのは、山や川といった自然だけに限りません。地域全体を活動のフィールドとして考えており、住宅街の細い路地やお寺の敷地といった場所でも活動が展開されます。そして、そこに住む地域の人たちと出会い、関わりを持つ機会があります。畠仕事をしている人、お寺のお坊さんといつたように、様々な人たちの存在を知り、関わりを通して、大人たちの仕事（役割）、自分の住んでいる地域や社会に対する関心を深めることも重要だと考えています。今後も更に地域との連携を密にしながら活動の幅を広げていきたいと考えています。

表もとにあります。子どもから行き先について提案があつたり、活動中に次にどこへ行つてみたいやどこでご飯を食





神田保育園では地域にある自然、人、食など様々な資源を最大限活かした保育を行なっています。この地だからこそできる保育、この地だからこそ感じることのできる体験を子ども達にしてほしいと思い、高津川での川遊び、毎日出かける散歩、地域の方々とのふれあい、地元の旬の食材を使った食事などを心がけています。それは、子ども達に地域の良さ、益田の良さをしつかりと体と心で感じながら育ち、ふるさと大切に想う心、ふるさとで生きる人を育てたいと思っているからです。



水質日本一となつた高津川は、園のすぐそばを流れています。夏はもちらんこの高津川での川遊びが中心となります。3年前から、この川遊びを小学校の生活科の授業とつなげ交流活動の1つとしています。また昨年からは、高津川の恵みである鮎を通した体験活動を、西益田地区の4つの保育園、小学校、中学校で行っています。保育園時代から親しんできた高津川での体験を、幼児期だけで終わらせるのではなく、小学校中学校とそれぞれの年齢で再び

神田保育園では地域にある自然、人、食など様々な資源を最大限活かした保育を行なっています。この地だからこそできる保育、この地だからこそ感じることのできる体験を子ども達にしてほしいと思い、高津川での川遊び、毎日出かける散歩、地域の方々とのふれあい、地元の旬の食材を使った食事などを心がけています。それは、子ども達に地域の良さ、益田の良さをしつかりと体と心で感じながら育ち、ふるさと大切に想う心、ふるさとで生きる人を育てたいと思っているからです。

今年4年連続なつた高津川は、園のすぐそばを流れています。夏はもちらんこの高津川での川遊びが中心となります。3年前から、この川遊びをさせたい」と言われ企画したものでした。当日、はじめての会で、そのお父さんが「自分は、小さい頃から川で遊んだ。川は泳いでも楽し



先日、1歳児のクラス懇談会で、親子での川遊びを実施しました。今年度初めの懇談会の中で、お父さん達が「川遊びをさせたい」と言わ
れ企画したものでした。当

日、はじめての会で、そのお父さん

が「自分は、小さい頃から川で遊んだ。川は泳いでも楽し

いし、生き物もいるし、いつ行っても楽しかった。その川遊びを今日は子ども達と一緒に楽しもう!」と挨拶してくださいました。1歳児の子

ども達は、1歳児なりに、でこぼこ

した石の上を歩き、お父さんが捕ま

えてくれたバケツの中の小さな魚を

つかもうとしたり、石の苔に気づいて「ヌルヌルあった」と喜ぶ姿など

もあり、川遊び初体験だったお母さ

ふるさとを想う 子どもたちへ

社会福祉法人 西益田福祉会

神田保育園 園長 塩満 恭子

関わり、新たな発見や気づきを得ること、異なる年齢のかかわりを通じて得ることのできる達成感や自信を感じてほしいと思っています。

このお父さんのように、小さな時から地域の資源に触れながら育ち、楽しなだ思

い出を次の世代の子ども達へとつなげてくれる人を高津川を通して育ててい

たいと思います。

んも笑顔で過ごされました。

このお父さんのように、小さな時から地域の資源に触れながら育ち、楽しなだ思

い出を次の世代の子ども達へとつなげてくれる人を高津川を通して育ててい

たいと思います。

子どものつぶやき



連絡帳のノートがいっほいになっこ、新しいノートが付け加えられています。
「ノートが太っこる!」
分厚いノートも、なんだかかわいいです。



編集後記

秋風が吹くころとなりました。8月末まで長い長い梅雨が続いているような、今年ほど夏を感じなかった年もなかったように思います。一方で、広島市で土砂災害を発生させた局地的大雨を始め、京都府、兵庫県など西日本各地で、甚大な被害が発生しました。何の前触れもなく突然に命を落とされた方々の無念さを思うとき辛く悲しい気持ちになります。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

広報誌37号をお届けします。お忙しい中ご執筆いただいた方や取材にご協力いただいた方々に厚くお礼申し上げます。そして目に見えない多くの方々の「おかげ」に感謝申し上げます。

【広報部副部長 舟谷法子】

私保達しまね No.37

発行日／平成26年(2014)10月3日
発行者／吉田 哲明

発行所／島根県私立保育園連盟(くもぎ保育園)
編集者／山本 恵子・舟谷 法子